

1. 公益財団法人那珂川沿岸土地改良基金協会 平成27年度 事業報告書

I. 事務事業の実施状況について

- (1) 収入の部については、基本財産運用収入(12,041,800円)、負担金収入(143,570,000円)、補助金等収入(8,895,600円)、特定資産運用収入(204,626,636円)、雑収入(2,167円)により、収入予算額 283,305,261円に対して 401,135,452円の収入決算となった(117,830,191円の増)。
- (2) 支出の部については、特定資産として特定資産積立(国営事業積立金積立 336,496,636円、退職給付積立金積立 522,167円)により、予算額 219,200,000円に対して 337,018,803円の積立をした。(117,818,803円の増)。
また、事業費、管理費、雑支出、予備費は予算額 64,105,261円に対して支出額は 31,325,559円であり、32,779,702円の支出減となった。
なお、事業活動収入計と事業活動支出計の差である当期収支差額は 835,829円となり、前期繰越収支差額 31,955,261円を合わせ 32,791,090円を次期繰越とした。

II. 法人の運営状況について

(1) 会議・研修会等の開催

区分	年月日	開催場所	内容
1	監査	H27. 5. 8	基金協会事務所 平成26年度 決算監査
2	第11回 理事会	H27. 5. 14	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室 ①平成26年度 事業報告及び決算について ②第9回評議員会について
3	第9回 評議員会	H27. 5. 27	ワークプラザ勝田 ①平成26年度決算について ②理事・監事の選任について
4	平成27年度 県出資法人等 経営評価	H27. 7. 22	県庁18階 行政監察相談室 県より、目的適合性、計画性、組織運営健全性、効率性、財務健全性についての検査(概ね良好)
5	第12回 理事会	H27. 8. 11	書面議決 副理事長の選定について
6	実証圃場 現地研修会	H27. 8. 27	那珂川沿岸地区管内 実証圃場5地区 作物栽培におけるかん水による生育、収量等に対する効果の確認等 参加者：67名
7	ホームページ開設	H27. 9. 1	基金協会について・定款等情報公開・関連組織について・お知らせ等を掲載
8	先進事例地区 現地研修会	H27. 10. 27	石岡台地地区管内 東成井西部地区 東成井西部地区の維持管理・畑かんマイスターの講演及び現地研修会 参加者：38名
9	那珂川沿岸地域 用水営農推進 講演会	H27. 12. 9	水戸市公設地方 卸売市場 ①講演「女性が働きやすい農業」 講師 筑波大学 生命環境系 教授 納口 るり子 氏 ②講演「県営畑総事業柳河地区について」 講師 県営畑総事業 柳河地区 生産者組合 組合長 小林 誠正 氏 参加者：70名
10	中間監査	H27. 12. 16	基金協会事務所 平成27年度 中間監査
11	平成27年度 実地検査	H27. 12. 21	基金協会事務所 県より、中期計画に基づく事業執行や基金の運用等についての検査(特に指摘無し)
12	平成27年度 予備監査	H28. 1. 27	基金協会事務所 県監査委員事務局より、地方自治法に基づく監査。(適正に処理されている)
13	第13回 理事会	H28. 2. 18	那珂川沿岸農業水利事業所 会議室 ①平成27年度 収入支出変更予算について ②平成28年度事業計画及び予算について ③新たな中期計画 ほか計9議案・報告2件

(2) 資産の状況

① 基本財産	600,000,000	円	(額面) …有価証券 4件
② 運用財産	5,594,700,000	円	(額面) …有価証券 15件
合計	6,194,700,000	円	

※有価証券の詳細は決算書注記「満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益」のとおり

(3) 那珂川沿岸用水営農の推進

① 畑かん営農モデル地区現地研修会の開催

目的 那珂川沿岸に係わる市町村の農業振興や、農業用水を活用する畑地かんがい営農について先進事例を研修し、今後の営農推進活動に繋げる。

①-1

開催日	平成27年8月27日
研修地等	那珂川沿岸地区管内実証圃場5地区(水戸市ほか) かん水による作物の生育、収量等に対する影響の確認、畑かん営農状況
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計67名

①-2

開催日	平成27年10月27日
研修地等	石岡台地地区管内東成井西部地区(石岡市) 東成井西部地区の維持管理・畑かんマイスターの講演及び現地研修会
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計38名

成果

用水を活用した畑地かんがい営農の先進事例を視察し、先進農家や畑かんマイスターと意見交換をすることにより、那珂川沿岸地域の農業振興や産地化推進に大きく寄与した。

② 那珂川沿岸地域用水営農推進講演会の開催

目的 那珂川沿岸地域受益農家及び関係市町村担当者を対象に、畑地かんがい営農実現への意欲を高めるとともに、那珂川沿岸農業水利事業に対する意識の高揚と農業者に対する啓発普及を図る。

開催日	平成27年12月9日
会場等	水戸市公設地方卸売市場
a. 演題 講師	「女性が働きやすい農業」 筑波大学 生命環境系 教授 納口 るり子 氏
b. 演題 講師	「県営畑総事業柳河地区について」 県営畑総事業 柳河地区生産者組合 組合長 小林 誠正 氏
参加者	受益農家、関係市町村担当者、国・県担当者 計70名

成果

各講師の講演は、受講者の畑地の基盤整備への意欲と、那珂川沿岸農業水利事業で整備される用水を活用した営農への関心を高めた。また講演後は、活発な意見交換があり、畑地かんがいに対する啓発が図られた。

③ 畑かん営農モデル展示事業の実施

畑地かんがいのかん水効果を把握するため、かん水区と無かん水(天水のみ)区を設定し、かん水効果の実証調査を実施した。

また、暫定的に柳河地区に設置してある給水スタンドの利用状況を調査した。

a. かん水・無かん水の生育収量調査 9地区で10作目実施

対象作目	露地なす	陸 稲	とうもろこし	アスパラガス	加工かんしょ
圃場位置	水戸市 飯島町	水戸市 飯富町	ひたちなか市 中根	城里町 増井	常陸大宮市 三美

対象作目	ショウガ	さといも	ニンジン	こまつな	ねぎ
圃場位置	城里町 上入野	城里町 磯野	水戸市 加倉井町	水戸市 岩根町	常陸大宮市 三美

b. 給水スタンド利用状況調査

設置位置：水戸市中河内町（柳河地区）

計156回(計83.32m³)の利用確認

当調査内容は、今後の畑かん営農の啓発のための基礎資料として活用していく。

(4) 機 構

評議員数(9)		役員数(19)					事務局(3)		
市町村	県	16(団体役員1,市町村13,県2)				3(市2,県1)	事務局長	次長	主任
		理事長	副理事長	常務理事	理事	監事			
8	1	1	3	1	11	3	1	1	1

[関係市町村]

4市3町1村（水戸市,ひたちなか市,常陸大宮市,那珂市,茨城町,大洗町,城里町,東海村）